

地理情報標準プロファイル Japan Profile for Geographic Information Standards (JPGIS) Ver.2.0

JPGIS Ver.1.0 平成 19 年 3 月（一部改訂）からの改定内容一覧

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
1	序文	原規格名の更新	ISO/DIS 19109	ISO 19109
2	序文	原規格名の更新	ISO/DIS 19123	ISO 19123
3	序文	原規格名の更新	ISO/FDIS 19110	ISO 19110
4	序文	原規格名の更新	ISO/DIS 19118	ISO 19118
5	序文	原規格名の更新	UML (Object Management Group (1999))	UML (ISO/IEC 19501)
6	3	記述の削除	これらの引用規格のうち、発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこのプロファイルの規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発行年を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。	（削除）
7	3	発行年の追加	JIS X 0301	JIS X 0301:2002
8	3	発行年の追加	JIS X 4159	JIS X 4159:2005
9	3	発行年の追加	JIS X 7105	JIS X 7105:2001
10	3	発行年の追加	JIS X 7107	JIS X 7107:2005
11	3	発行年の追加	JIS X 7108	JIS X 7108:2004
12	3	発行年の追加	JIS X 7111	JIS X 7111:2004
13	3	発行年の追加	JIS X 7112	JIS X 7112:2006
14	3	発行年の追加	JIS X 7115	JIS X 7115:2005
15	3	発行年の追加	日本メタデータプロファイル JMP2.0	日本メタデータプロファイル JMP2.0:2004
16	3	原規格名の更新	ISO/TS 19103* 注* 未発行	ISO/TS 19103:2002
17	3	原規格名の更新	ISO/DIS 19109	ISO 19109:2005

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
18	3	原規格名の更新	ISO/FDIS 19110	ISO 19110:2005
19	3	原規格名の更新	ISO/DIS 19117	ISO 19117:2005
20	3	原規格名の更新	ISO/DIS 19118	ISO 19118:2005
21	3	原規格名の更新	ISO/DIS 19123	ISO 19123:2005
22	3	原規格名の更新	ISO/CD 19131	ISO 19131:2007
23	3	原規格の追加	(記載なし)	ISO 19136 Geographic Information – Geography Markup Language (GML)
24	3	原規格の追加	(記載なし)	ISO/IEC 19501:2005 Information technology -- Open Distributed Processing – Unified
25	3	原規格の追加		Modeling Language (UML) Version 1.4.2
26	4.1.1	記述の変更	このプロファイルでは、概念スキーマは OMG/UML,UML Notation Guide, version 1.3 (以下 OMG UML1.3) を使用して表現する	このプロファイルでは、概念スキーマは UML を使用して表現する。
27	4.1.3	原規格バージョンの更新	OMG UML1.3	OMG UML1.4.2
28	6 序文	原規格名の更新	ISO/DIS 19109	ISO 19109

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
29	6.1.2 図 6-1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)		
30	6.1.3	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<p>2.inheritsFrom 関連役割は、地物属性や地物関連役割等の地物特性を継承する上位型を規定する。</p> <p>3.inheritsTo 関連役割は、地物属性や地物関連役割等の地物特性を継承させる下位型を規定する。</p>	<p>2.Generalization 関連は、地物属性や地物関連役割等の地物特性を継承する上位型を規定する。</p> <p>3.Specialization 関連は、地物属性や地物関連役割等の地物特性を継承させる下位型を規定する。</p>
31	6.1.5	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<p>3.cardinality:CharacterString は、ある範囲で提供される地物型の属性と関連する値の数を示す。</p>	<p>3.cardinality:Multiplicity は、ある範囲で提供される地物型の属性と関連する値の数を示す。</p>
32	6.1.6	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<p>1.cardinality:CharacterString は、この役割で振る舞うことができ、もう一方の関連終端にある地物型の単一インスタンスと関連する地物型のインスタンスの数を示す。</p>	<p>1.cardinality:Multiplicity は、この役割で振る舞うことができ、もう一方の関連終端にある地物型の単一インスタンスと関連する地物型のインスタンスの数を示す。</p>
33	6.1.6	記述の削除(基盤地図 情報への対応)	<p>2.valueType:GF_FeatureType は、関連役割の型となる地物型を示す。</p> <p>3.associationType:GF_AssociationKind は、この関連役割が関連、</p>	(削除)

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			<p>集成，合成のどの種類かを識別する。定義域は 6.1.7 を参照。</p> <p>4.isNavigable:Boolean=true は，関連元地物から関連先地物に対して役割が参照できるかどうかの区別を示す。” true ” の場合は参照可能，” false ” の場合は参照不可能となり，初期値は ” true ” である。</p>	
34	6.1.6	記述の変更(基盤地図情報への対応)	1.relation 関連役割は，地物関連役割が部分となる関連を規定する。	1.Role 関連は，地物関連役割が部分となる関連を規定する。
35		記述の削除(基盤地図情報への対応)	<p>6.1.7GF_AssociationKind</p> <p>GF_AssociationKind は，関連役割の関連種類を列挙するデータ型である。関連の種類は以下のとおりである。</p> <p>a)ordinary：関連を示す。</p> <p>b)aggregation：集成を示す。</p> <p>c)composition：合成を示す。</p>	(削除)
36	6.1.7	記述の変更(基盤地図情報への対応)	1.[上位型から継承する属性]typeName[0..1]:CharacterString は，地物関連の名前を示す。名前は応用スキーマ内で一意でなければならない。ただし，地物関連では，この属性は任意である。 (Ver.1.0 では 6.1.8)	2.[上位型から継承する属性]definition:CharacterString は，地物関連を記述する定義を示す。
37	6.1.8	記述の追加(基盤地図情報への対応)	(記載なし)	<p>6.1.8GF_AggregationType</p> <p>GF_AggregationType は GF_AssociationType の下位型であり，地物型の間の関連の中で，集成と合成の関連を示す。</p>
38	7.1	原規格バージョンの更新	OMG UML1.3	OMG UML1.4.2
39	7.2.2.5	記述の変更(基盤地図情報への対応)	1.Oriented 関連は，一又は二次元の各 GM_Primitive が役割名 proxy によって，それぞれ異なる方向性の二つの	1.Oriented 関連は，一又は二次元の各 GM_Primitive が役割名 proxy によって，それぞれ異なる方向性の二つの

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			GM_OrientablePrimitive への関連をもつことができることを示す。	GM_OrientablePrimitive への関連を 集成として もつことができることを示す。
40	7.2.2.5 図 7-5	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> classDiagram class GM_Primitive["<<Type>> GM_Primitive"] class GM_Point["<<Type>> GM_Point"] class GM_OrientablePrimitive["<<Type>> GM_OrientablePrimitive"] class GM_OrientableCurve["<<Type>> GM_OrientableCurve"] class GM_OrientableSurface["<<Type>> GM_OrientableSurface"] class GM_Curve["<<Type>> GM_Curve"] class GM_Surface["<<Type>> GM_Surface"] GM_Primitive < -- GM_Point GM_Primitive < -- GM_OrientablePrimitive GM_OrientablePrimitive < -- GM_OrientableCurve GM_OrientablePrimitive < -- GM_OrientableSurface GM_OrientableCurve < -- GM_Curve GM_OrientableSurface < -- GM_Surface GM_Primitive "1" -- "*" GM_OrientablePrimitive : primitive, Oriented GM_OrientablePrimitive "0,2" -- "*" GM_OrientablePrimitive : proxy </pre>	<pre> classDiagram class GM_Primitive["<<Type>> GM_Primitive"] class GM_Point["<<Type>> GM_Point"] class GM_OrientablePrimitive["<<Type>> GM_OrientablePrimitive"] class GM_OrientableCurve["<<Type>> GM_OrientableCurve"] class GM_OrientableSurface["<<Type>> GM_OrientableSurface"] class GM_Curve["<<Type>> GM_Curve"] class GM_Surface["<<Type>> GM_Surface"] GM_Primitive < -- GM_Point GM_Primitive < -- GM_OrientablePrimitive GM_OrientablePrimitive < -- GM_OrientableCurve GM_OrientablePrimitive < -- GM_OrientableSurface GM_OrientableCurve < -- GM_Curve GM_OrientableSurface < -- GM_Surface GM_Primitive "1" *-- "*" GM_OrientablePrimitive : primitive, Oriented GM_OrientablePrimitive "0,2" -- "*" GM_OrientablePrimitive : proxy </pre>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
41	7.2.2.7 図 7-7	記述の変更 (基盤地図 情報への対応)		
42	7.2.2.10 図 7-8	記述の変更 (基盤地図 情報への対応)		

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
43	7.2.2.11 図 7-9	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<p>The diagram shows a hierarchy of classes: GM_Primitive (primitive) is the base class. GM_OrientablePrimitive (proxy) inherits from GM_Primitive and has an association with GM_Primitive (1 primitive). GM_OrientableSurface inherits from GM_OrientablePrimitive and has a note: {primitive.isTypeOf(GM_Surface)}. GM_Surface inherits from GM_OrientableSurface and has a note: {primitive = self; orientation = "+"}. GM_Surface has an association with GM_SurfacePatch (1..* patch) and a note: {primitive = self; orientation = "+"}. GM_SurfacePatch is an abstract class from Coordinate geometry.</p>	<p>The diagram shows a hierarchy of classes: GM_Primitive (primitive) is the base class. GM_OrientablePrimitive (proxy) inherits from GM_Primitive and has an association with GM_Primitive (1 primitive). GM_OrientableSurface inherits from GM_OrientablePrimitive and has a note: {primitive.isTypeOf(GM_Surface)}. GM_Surface inherits from GM_OrientableSurface and has a note: {primitive = self; orientation = "+"}. GM_Surface has an association with GM_SurfacePatch (1..* patch) and a note: {primitive = self; orientation = "+"}. GM_SurfacePatch is an abstract class from Coordinate geometry.</p>
44	7.2.3.11 図 7-18	要素名の修正	GM_PolyhedralSurface	GM_PolyhedralSurface
45	8.1	原規格バージョンの 更新	OMG UML1.3	OMG UML1.4.2
46	9	原規格名の更新	ISO/DIS 19123	ISO 19123

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
47	9.2 図 9-2	記述の変更(基盤地図 情報への対応)		
48	9.2.1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	CV_Coverage は、メタクラス GF_FeatureType (6.1.3 参照) のインスタンスであり、従って地物型に相当する。CV_Coverage は二つの属性、一つの間連をもつ。	CV_Coverage は、メタクラス GF_FeatureType (6.1.3 参照) のインスタンスであり、従って地物型に相当する。CV_Coverage は三つの属性、一つの間連をもつ。
49	9.2.1	記述の追加(基盤地図 情報への対応)	(記載なし)	<p>3.commonPointRule:CV_CommonPointRule は , CV_DomainObject が表す被覆の幾何オブジェクトに対して、幾何オブジェクト間の境界や複数の幾何オブジェクトが重なり合う境界内に該当する位置において CV_Coverage の評価を行う際に用いる手続きを指定する。</p> <p>備考 この属性は、振舞いに対するパラメータであるため、JPGIS</p>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
				では " average " だけを定義している。
50	9.2.3	記述の変更(基盤地図情報への対応)	1.geometry:GM_Object は, CV_GeometryValuePair の構成要素である GM_Object をもつ。	1.geometry: CV_DomainObject は, CV_GeometryValuePair の構成要素の幾何情報を GM_Object でもち, また, 時間幾何情報を TM_GeometricPrimitive でもつ。
51	9.3	記述の変更(基盤地図情報への対応)		
52	9.3	記述の変更(基盤地図情報への対応)	両方のクラスの下位型は, 上位クラスで指定された属性及び上位クラス間の関連を継承するが, 以下(9.3.1 ~ 9.3.6) に記す制約を伴う。	両方のクラスの下位型は, 上位クラスで指定された属性及び上位クラス間の関連を継承するが, 以下(9.3.1 ~ 9.3.11) に記す制約を伴う。
53	9.3.7 ~ 9.3.11	記述の追加(基盤地図情報への対応)	(記載なし)	(箇条の新規追加) 9.3.7 CV_DiscreteGridPointCoverage 9.3.8 CV_Grid 9.3.9 CV_GridValuesMatrix 9.3.10 CV_SequenceRule 9.3.11 CV_GridPointValuePair

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
54	11	原規格名の更新	ISO/FDIS 19110	ISO 19110
55	12	原規格名の更新	ISO/DIS 19118	ISO 19118
56	12.3.6	箇条の追加	(記載なし)	12.3.6 附属書について このプロファイルでは、符号化規則は定めないが、附属書 8 又は附属書 12 に示す符号化規則を使用することができる。
57	附属書 1 5.3	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	5.3 離散被覆インタフェース a) 試験目的 応用スキーマが、附属書 1 の 5.2 の要件を満たし、CoverageFunction 関連をもつ CV_DiscreteCoverage とその下位型をインスタンス化し、geometry 及び value 属性をもつ CV_GeometryValuePair とその下位型をインスタンス化することを確認する。	5.3 離散被覆インタフェース a)試験目的 応用スキーマが、附属書 1 の 2.2.5 の要件を満たし、CoverageFunction 関連をもつ CV_DiscreteCoverage とその下位型をインスタンス化し、インスタンス化した型が CV_DiscretePointCoverage, CV_DiscreteCurveCoverage, 又は CV_DiscreteSurfaceCoverage の場合は、geometry 及び value 属性をもつ CV_GeometryValuePair とその下位型をインスタンス化することを確認する。インスタンス化した型が CV_DiscreteGridPointCoverage の場合は、CV_GridValuesMatrix をインスタンス化することを確認する。
58	附属書 2 2. 図附 2-1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)		

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
59	附属書 2 2.1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	データ集合で使用する空間及び時間参照系。	データ集合で使用する参照系についての情報を表す抽象クラス。 (JIS X7115 が規定)
60	附属書 2 2.3	記述の追加(基盤地図 情報への対応)	(記載なし)	2.3 SC_CRS 時間及び座標参照系を表す抽象クラス。RS_ReferenceSystem の下 位型で、一つの属性を継承する。(JIS X7111 が規定) 属性 1. typeCode:SC_TypeCode は、座標参照系の型コードであり、単 一座標参照系のとき 1、複合座標参照系のとき 2 を設定する。 2. remarks[0..1]:CharacterString は、座標参照系に関する注釈 を記述する。 3. [上位型から継承する属性]name:RS_Identifier は、使用する時 間及び座標参照系の名称を記述する。
61	附属書 2 2.4	記述と箇条番号の変 更(基盤地図情報への 対応)	2.3 RS_CRS このプロファイルで独自に規定する時間及び座標参照系。 RS_ReferenceSystem の下位型で、一つの属性を継承する。 属性 1. [上位型から継承する属性]name:RS_Identifier は、使用する時 間及び座標参照系の名称を記述する。	2.4 RS_CRS このプロファイルで独自に規定する時間及び座標参照系。SC_CRS の下位型で、三つの属性を継承する。 属性 1. [上位型から継承する属性]name:RS_Identifier は、使用する時 間及び座標参照系の名称を記述する。 2. [上位型から継承する属性]typeCode:SC_TypeCode は、座標参 照系の型コードであり、単一座標参照系のとき 1、複合座標参照系 のとき 2 を設定する。 3. [上位型から継承する属性]remarks[0..1]:CharacterString は、 座標参照系に関する注釈を記述する。
62	附属書 6	記述の変更(基盤地図)	値を記述するために使用される Record 及び RecordType のクラス	値を記述するために使用される Record 及び RecordType のクラス

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
	5	情報への対応)	<p>図及び定義を記述する。定義は、ISO/TS 19103-Conceptual Schema Language より引用することを原則とするが、ISO/TS 19103 に記述されている RecordType が Metaclass であるため、利用性を考慮し、一部内容を改めて引用する。Record 及び RecordType を以下のとおり規定する。</p> <p>備考 原規格から内容を改めた箇所については、定義文書の中で示す。</p>	<p>図及び定義を、ISO/TS 19103-Conceptual Schema Language より引用する。</p>
63	附属書 6 5 図附 6-5	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> classDiagram class RecordType { typeName: CharacterString attributeTypes: Dictionary<AttributeName, TypeName> } class Record { attributes: Dictionary<AttributeName, Any> } RecordType "1" -- "*" Record : RecordType </pre>	<pre> classDiagram class RecordType { <<Type>> attributeMember: MemberName } class Record { <<Type>> attributeMember: MemberName } class Any { <<Type>> memberValue } RecordType "0..1" -- "*" RecordType : RecordType RecordType "1" -- "*" Any : memberType Record "0..*" -- "*" Record : Record Record "1" -- "*" Any : memberValue </pre>
64	附属書 6 5.1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<p>Record が参照する型、型に含まれる属性名及びその属性の型を示す。</p> <p>属性</p> <p>1.typeName:CharacterString は、Record が参照する型の名称。</p> <p>備考 原規格では、typeName のデータ型は TypeName であるが、JPGIS では利用性を考慮し、CharacterString に改める。</p> <p>2.attributeTypes:Dictionary<AttributeName, TypeName> は、RecordType に含まれる属性名と属性の型のリスト。</p>	<p>RecordType は、Record が表す属性値の型を示す。</p> <p>属性</p> <p>1. [上位から継承する属性] typeName:CharacterString は、RecordType 型の名称。</p> <p>関連</p> <p>1.memberType 関連役割割は、属性名 attributeMember:MemberName によって限定され、その属性名に対応する型を示す。</p>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			備考 JPGIS では利用性を考慮し，Dictionary の値となる AttributeName 及び TypeName を，CharacterString として記述する。	2.record 関連役割は，この RecordType を参照する Record 型を示す。
65	附属書 6 5.2	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	Record の属性名と実際の値を示す。 属性 1.attributes:Dictionary<AttributeName, Any>は，Record の属性名とその値のリスト。 備考 JPGIS では利用性を考慮し，Dictionary の値となる AttributeName を，CharacterString として記述する。 関連 1.recordType 関連役割は，Record が参照する型を示す。	Record は，属性値を表すための型であり，属性名と実際の値を対にして表すことを基本とする。 関連 1.recordType 関連役割は，Record が参照する型を示す。 2.memberValue 関連役割は，属性名 attributeMember:MemberName によって限定され，その属性の実際の値を示す。
66	附属書 6 6~7	記述の追加(基盤地図 情報への対応)	(記載なし)	(箇条の新規追加) 6.Names (名前情報) 7. Multiplicity (多重度情報)
67	附属書 8 1.1	原規格バージョンの 更新	OMG UML1.3	OMG UML1.4.2
68	附属書 8 4.6.5	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	・ IM_Object からの継承による記述例 <xs:complexType name="ExFeature"> <xs:complexContent> <xs:extension base="IM_Object"> <xs:sequence> <xs:element ref="name"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent> </xs:complexType> <xs:element ref="name" type="CharacterString"/>	・ IM_Object からの継承による記述例 <xs:complexType name="ExFeature"> <xs:complexContent> <xs:extension base="IM_Object"> <xs:sequence> <xs:element name="name" type="CharacterString"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent> </xs:complexType>
69	附属書 8	記述の変更(基盤地図)	・ IM_ObjectIdentification 属性の集合への参照による記述例 <xs:complexType name="ExFeature">	・ IM_ObjectIdentification 属性の集合への参照による記述例 <xs:complexType name="ExFeature">

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
	4.6.5	情報への対応)	<pre><xs:sequence> <xs:element ref="name"/> </xs:sequence> <attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </xs:complexType> <xs:element ref="name" type="CharacterString"/></pre>	<pre><xs:sequence> <xs:element name="name" type="CharacterString"/> </xs:sequence> <attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </xs:complexType></pre>
70	附属書 8 4.6.6	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre><complexType name="Record"> <sequence> <element name="attributes" type="Dictionary_AttributeName_Any_"/> <element name="recordType" type="ref_RecordType"/> </sequence> <attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </complexType> <complexType name="RecordType"> <sequence> <element name="typeName" type="CharacterString_"/> <element name="attributeTypes" type="Dictionary_AttributeName_TypeName_"/> </sequence> <attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </complexType> <complexType name="ref_RecordType"> <attributegroup ref="IM_ObjectReference"/> </complexType></pre>	<pre><complexType name="Record"> <xs:sequence> <xs:element name="attributeMember" type="MemberName" minOccurs="0"/> <xs:element name="memberValue" type="xs:anyType"/> <xs:element name="recordType" type="ref_RecordType"/> </xs:sequence> <xs:attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </xs:complexType> <xs:complexType name="RecordType"> <xs:complexContent> <xs:extension base="IM_Object"> <xs:sequence> <xs:element name="typeName" type="TypeName"/> <xs:element name="attributeMember" type="MemberName" minOccurs="0"/> <xs:element name="memberType" > <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element name="typeName" type="TypeName"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> <xs:element name="record" type="jps:ref_Record" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> <xs:attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </xs:extension> </xs:complexContent> </xs:complexType> <xs:complexType name="ref_RecordType"> <xs:attributegroup ref="IM_ObjectReference"/> </xs:complexType> <xs:complexType name="ref_Record"></pre>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
				<xs:attributegroup ref="IM_ObjectReference"/> </xs:complexType>
71	附属書 8 4.6.7	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・ IM_Object からの継承による記述例 <pre><xs:complexType name="ExType"> <xs:complexContent> <xs:extension base="IM_Object"> <xs:sequence> <xs:element ref="name"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent> </xs:complexType> <xs:element ref="name" type="CharacterString"/></pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IM_Object からの継承による記述例 <pre><xs:complexType name="ExType"> <xs:complexContent> <xs:extension base="IM_Object"> <xs:sequence> <xs:element name="name" type="CharacterString"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent> </xs:complexType></pre>
72	附属書 8 4.6.7	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・ IM_ObjectIdentification 属性の集合への参照による記述例 <pre><xs:complexType name="ExType"> <xs:sequence> <xs:element ref="name"/> </xs:sequence> <attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </xs:complexType> <xs:element ref="name" type="CharacterString"/></pre>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IM_ObjectIdentification 属性の集合への参照による記述例 <pre><xs:complexType name="ExType"> <xs:sequence> <xs:element name="name" type="CharacterString"/> </xs:sequence> <attributegroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </xs:complexType></pre>
73	附属書 8 4.7	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre><xs:complexType name="S1" abstract="true"> <xs:complexContent> <xs:extension base="IM_Object"> <xs:sequence> <xs:element ref="attrA" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent> </xs:complexType> <xs:element name="attrA" type="Integer"/> <xs:complexType name="S2"> <xs:complexContent> <xs:extension base="S1"> <xs:sequence> <xs:element ref="attrB"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent></pre>	<pre><xs:complexType name="S1" abstract="true"> <xs:complexContent> <xs:extension base="IM_Object"> <xs:sequence> <xs:element name="attrA" type="Integer" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent> </xs:complexType> <xs:complexType name="S2"> <xs:complexContent> <xs:extension base="S1"> <xs:sequence> <xs:element name="attrB" type="Boolean"/> </xs:sequence> </xs:extension> </xs:complexContent></pre>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			<pre> </xs:complexContent> </xs:complexType> <xs:element name="attrB" type="Boolean"/> <xs:complexType name="S3"> <xs:complexContent> <xs:restriction base="S1"> <xs:sequence> <xs:element ref="attrA" minOccurs="1" maxOccurs="4"/> </xs:sequence> </xs:restriction > </xs:complexContent> </xs:complexType> <xs:element name="attrA" type="Real"/> </pre>	<pre> </xs:complexType> <xs:complexType name="S3"> <xs:complexContent> <xs:restriction base="S1"> <xs:sequence> <xs:element name="attrA" type="Real" minOccurs="1" maxOccurs="4"/> </xs:sequence> </xs:restriction > </xs:complexContent> </xs:complexType> </pre>
74	附属書 8 4.8.1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> <xs:complexType name="Example"> <xs:sequence> <xs:element ref="title"/> <xs:element ref="number" minOccurs="0"/> <xs:element ref="subExample" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:element name="title" type="CharacterString"/> <xs:element name="number" type="Integer"/> <xs:element name="subExample" type="Example"/> </pre>	<pre> <xs:complexType name="Example"> <xs:sequence> <xs:element name="title" type="CharacterString"/> <xs:element name="number" type="Integer" minOccurs="0"/> <xs:element name="subExample" type="Example" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </pre>
75	附属書 8 4.8.2	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> <xs:complexType name="A"> <xs:sequence> <xs:element ref="theB" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:element name="theB" type="ref_B"/> </pre>	<pre> <xs:complexType name="A"> <xs:sequence> <xs:element name="theB" type="ref_B" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </pre>
76	附属書 8 4.8.3	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> <xs:complexType name="C"> <xs:sequence> <xs:element ref="theD" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:element name="theD"> <xs:complexType> </pre>	<pre> <xs:complexType name="C"> <xs:sequence> <xs:element name="theD" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element name="D" type="D" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> </pre>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			<pre> <xs:sequence> <xs:element ref="D" minOccurs="0" maxOccurs="1"/> </xs:sequence> <xs:attributeGroup ref="IM_ObjectReference"/> </xs:complexType> </xs:element> <xs:complexType name="D"> <xs:sequence> <xs:element ref="theC" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:element name="theC" type="IM_ObjectReference"/> </pre>	<pre> </xs:sequence> <xs:attributeGroup ref="IM_ObjectReference"/> </xs:complexType> </xs:element> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:complexType name="D"> <xs:sequence> <xs:element name="theC" type="IM_ObjectReference" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </pre>
77	附属書 8 4.8.4	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> <xs:complexType name="E"> <xs:sequence> <xs:element ref="theF" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:element name="theF"> <xs:complexType> <xs:element ref="F"/> </xs:complexType> </xs:element> </pre>	<pre> <xs:complexType name="E"> <xs:sequence> <xs:element name="theF" type="F" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </pre>
78		記述の削除(基盤地図 情報への対応)	<p>4.8.5 関連型 (AssociationType) 関連型は、二つの型の関係を説明する型である。 関連型に一致する複合型は、要素宣言を含まねばならない。要素宣言では、名称は関連する型を特定する役割名に一致し、型は関連する型の型に一致しなければならない。 備考 関連型の符号化規則は、原規格である ISO/DIS 19118 にはないが、JPGIS において実装を考慮し、追加した。</p>	(削除)
79	附属書 8 4.9.1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> <xs:element name="GI"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element name="exchangeMetadata" minOccurs="0"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="ExchangeMetadata"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> </xs:sequence> </xs:complexType> </pre>	<pre> <xs:element name="GI"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element name="exchangeMetadata" type="ExchangeMetadata" minOccurs="0"/> <xs:element name="dataset" type="Dataset" minOccurs="0"/> </xs:sequence> <xs:attribute name="version" type="CharacterString" </pre>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			<pre> </xs:element> <xs:element name="dataset" minOccurs="0"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="Dataset"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> </xs:sequence> <xs:attribute name="version" type="CharacterString" use="required" fixed="1.0"/> <xs:attribute name="timeStamp" type="DateTime" use="required"/> </xs:complexType> </xs:element> </pre>	<pre> use="required" fixed="1.0"/> <xs:attribute name="timeStamp" type="DateTime" use="required"/> </xs:complexType> </xs:element> </pre>
80	附属書 8 4.9.2 図附 8-17	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> classDiagram class Dataset { object } class Object class RS_ReferenceSystem { <<Abstract>> } Dataset "1" *-- "1..*" Object Dataset "1" -- "0..*" RS_ReferenceSystem : +rs </pre> <p>備考 データ集合からの参照系への参照は、原規格である ISO/DIS 19118 にはないが、JPGIS において使用者の利便性を考慮し、追加した。</p>	<pre> classDiagram class Dataset { } class Object Dataset "1" *-- "1..*" Object </pre>
81	附属書 8 4.9.2	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre> <xs:element name="Dataset" type="Dataset"/> <xs:complexType name="Dataset"> <xs:sequence maxOccurs="unbounded"> <xs:element name="rs" type="ref_RS_ReferenceSystem" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:attributeGroup ref="IM_ObjectIdentification"/> </pre>	<pre> <xs:element name="Dataset" type="Dataset"/> <xs:complexType name="Dataset"> <xs:sequence maxOccurs="unbounded"> <xs:group ref="Object"/> </xs:sequence> </xs:complexType> <xs:attributeGroup ref="IM_ObjectIdentification"/> <xs:group name="Object"> </pre>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			<pre></xs:complexType> <xs:group name="Object"> <xs:sequence> <xs:any namespace=" Object が含まれる名前空間"/> </xs:sequence> </xs:group></pre>	<pre><xs:sequence> <xs:any namespace="Object が含まれる名前空間"/> </xs:sequence> </xs:group></pre>
82	附属書 8 4.9.3	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	<pre>ExchangeMetadata の宣言を以下に示す。 <xs:element name="ExchangeMetadata" type="ExchangeMetadata"/> <xs:complexType name="ExchangeMetadata"> <xs:sequence> <xs:element name="datasetCitation"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="CI_Citation"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> <xs:element name="metadataCitation" minOccurs="0"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="CI_Citation"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> <xs:element name="applicationSchemaCitation" minOccurs="0"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="CI_Citation"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> <xs:element name="encodingRule"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="EncodingRule"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element></pre>	<pre>ExchangeMetadata の宣言を以下に示す。 <xs:element name="ExchangeMetadata" type="ExchangeMetadata"/> <xs:complexType name="ExchangeMetadata"> <xs:sequence> <xs:element name="datasetCitation" type="CI_Citation"/> <xs:element name="metadataCitation" type="CI_Citation" minOccurs="0"/> <xs:element name="applicationSchemaCitation" type="CI_Citation" minOccurs="0"/> <xs:element name="encodingRule" type="EncodingRule"/> <xs:element name="codeLists" type="CodeListExtraction" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/> </xs:sequence> </xs:complexType> EncodingRule の宣言を以下に示す。 <xs:complexType name="EncodingRule"> <xs:sequence> <xs:element name="encodingRuleCitation" type="CI_Citation"/> <xs:element name="toolName" type="CharacterString"/> <xs:element name="toolVersion" type="CharacterString" minOccurs="0"/> </xs:sequence> </xs:complexType></pre>

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
			<pre> <xs:element name="codeLists" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="CodeListExtraction"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> </xs:sequence> </xs:complexType> EncodingRule の宣言を以下に示す。 <xs:element name="EncodingRule" type="EncodingRule"/> <xs:complexType name="EncodingRule"> <xs:sequence> <xs:element name="encodingRuleCitation"> <xs:complexType> <xs:sequence> <xs:element ref="CI_Citation"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </xs:element> <xs:element name="toolName" type="CharacterString"/> <xs:element name="toolVersion" type="CharacterString" minOccurs="0"/> </xs:sequence> </xs:complexType> </pre>	
83	附属書 8 5.1	記述の変更(基盤地図 情報への対応)	標準 XML Schema のタグ命名規則は、地物は「地物名」、属性は「地物名.属性名」、関連は「地物名.関連名」としているが、応用スキーマの W3C XML Schema については規定しない。	標準 XML Schema のタグ命名規則は、地物は「地物名」、属性は「属性名」、関連は「関連名」としている。応用スキーマの W3C XML Schema についても基本的にこの規則に従うこととする。
84	附属書 8 5.6.3	記述の修正	3. 制限標準 XML Schema を使用する応用スキーマの XML Schema は、拡張標準 XML Schema を import して使用しなければいけない。	3. 制限標準 XML Schema を使用する応用スキーマの XML Schema は、 制限標準 XML Schema を import して使用しなければいけない。
85	附属書 8 5.4	名前空間の更新	http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas1.0_2007-03	http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-04

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後
86	附属書 8 5.7	XML Schema 文書の外部配置	5.7.1 jpsBasic.xsd ~ 5.7.9jpsCatalogue.xsd	[xsd ファイルの内容を示す部分をすべて削除し、次のとおり変更] 標準 XML Schema 文書は次の URL のファイルを使用する。 http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-04
87	附属書 9 序文	原規格名の更新	ISO/DIS 19123	ISO 19123
88	附属書 9 2	XML Schema 文書の外部配置	2. jpsGrid.xsd	[次のとおりに変更] 2. 四辺形グリッド被覆 XML Schema 文書 四辺形グリッド被覆の XML Schema 文書は次の URL にあるファイル jpsGrid.xsd を使用する。 http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-04/
89	附属書 10 序文	原規格名の更新	ISO/DIS 19117 (Geographic information - Portrayal)及び地理情報標準第 2 版 X 描画法	ISO 19117
90	附属書 10 5.1	XML Schema 文書の外部配置	5.1 jpsDictionary.xsd	[これ以下を削除し、次のとおりに変更] 描画法の XML Schema 文書は次の URL にあるファイル jpsDictionary.xsd 及び jpsFeaturePortrayal.xsd を使用する。 http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-04/
91	附属書 11	取り扱いの変更	附属書 11 (参考) 空間データ製品仕様書	附属書 11 (規定) 空間データ製品仕様書
92	附属書 11 序文	原規格名の変更及び記述の変更	この附属書は、ISO/CD 19131 (Geographic information - Data product specifications)を参考にし、地理情報標準プロファイルに基づいて空間データ製品仕様書を作成する際の考え方を示す。なお、この附属書は規定の一部ではない。	この附属書は、ISO 19131 (Geographic information - Data product specifications)にしたがって、このプロファイルに基づく空間データ製品仕様書の作成について規定する。
93	附属書 11 2	記述の変更	空間データ製品仕様書は、次に示す項目を記述することができる。	空間データ製品仕様書には、次に示す項目を記述する。

番号	章/節/項	内容	改訂前	改訂後								
94	附属書 11 表附 11-1	記述の追加	<table border="1"> <tr> <td>データ製品配布</td> <td>12 符号化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>附属書8 (参考) XMLに基づく符号化規則</td> </tr> </table>	データ製品配布	12 符号化		附属書8 (参考) XMLに基づく符号化規則	<table border="1"> <tr> <td>データ製品配布</td> <td>12 符号化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>附属書8 (参考) XMLに基づく符号化規則 附属書12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)</td> </tr> </table>	データ製品配布	12 符号化		附属書8 (参考) XMLに基づく符号化規則 附属書12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)
データ製品配布	12 符号化											
	附属書8 (参考) XMLに基づく符号化規則											
データ製品配布	12 符号化											
	附属書8 (参考) XMLに基づく符号化規則 附属書12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)											
95	附属書 12	附属書の追加		[新規に追加]								